てぃ～んず情報誌 vol.8

10代のための本棚

COOL LIB!!

開催決定！！POPコンテスト

墨田区立図書館　　2014年7月発行

http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex

図書館物語　第8話

ティーンズルームで話し声が。何やら密談？じゃなくて、誰かに相談?いや、どうやら独り言のようだ。シーッ！ ちょっと様子をうかがってみよう。

S「ご利益あるかな？ この図書館って、確か、運気が上がるとか、学力向上するとかいってたよな～。そろそろ真剣に進活を考えなくっちゃいけないな」

“進活” S流に言えば進路を決めることらしい。本棚をながめながら、数冊の本を手にとった。まさに高校の学校案内、そして、出版年を見ると。

S「ギョッ！ 2017年？ 今年は2014年のはずだけど…これって、3年後の大学案内じゃん。不思議だなぁ」

X「進活どうすんのよぉ。もう、高3の夏だもん。まだ、決まってないなんて、遅すぎるくらいだよ」

突然、女子高生が親しげに話しかけてきた。Sが知っている誰かに似ている。しかも、かなりキレイ～（^^）

S「ギョ、ギョ、ギョッ！ もしかして、Tじゃない？」

一瞬の間・・・いたはずのXがいなくなっていた。

T「どうしたの？ ユウレイでも見たような顔してるよ」

これを白昼夢というのだろうか？ Sにとっては、デジャヴのような体験なのだ。

暑い夏は・・・“COOL LIB”図書館に来てね♪

調べる力向上

もうすぐ、楽しい夏休み！　夏休みといえば、部活、イベント、旅行、そして……宿題。調べものをする機会も増えるこれからの季節に向けて、今回は、調べものを効率的に進めるコツを伝授します。

あらゆる情報が散りばめられた、魅惑の空間へ…

調べるために図書館に来たら、当たりを付けた本の周りを見渡してみてください。図書館の本は、本の分野・内容に基づいて分類する「日本十進分類法」により付された分類記号順に並んでいます。つまり、自分が探した一冊の本の周りには、同じ分野・類似した内容の本が並んでいるわけです。調べものには、図書館のこの特性を活用してみてくださいね。

“物語”と“調べるための本”の読み方は、違う!?

調べるために本を読むときは、多くの本を読まなければなりませんよね。そんなときに役立つ、時短テクニックをご紹介します。①目次をざっくり読んで、求めている情報が「この部分に書かれていそうだ」と予測し、本文を読む　②キーワードをいくつか思い浮かべて、索引をしっかり読み、本文も読む　③本の目的や概要が書かれていることの多い「はじめに」や「まえがき」で、求めている情報が載っている本かどうか見極める

“児童書＝絵本”だと思っていませんか？

もちろん、児童書のコーナーには絵本がたくさん並んでいます。では、そんな中に、いろんな事柄を簡単に説明した“超入門書”がたくさんあることをご存知ですか？　しかも、子どもに理解できるよう書かれた本ですから、一般書より分かりやすく、図やイラストがたくさん載っています。特に、身近な事柄を調べる際にはお役立ちですよ。

調べものは、“信頼性の高い資料”と“複数比較”が大原則！

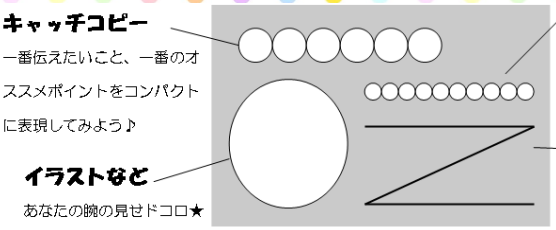
本は、書かれている内容に責任を持つという「責任表示」として、奥付（最後のページ）に著者名などが明記されていることから、信頼性が高いと考えられています。手軽に調べられる便利なWebサイトも、情報の発信源の信頼性を見極めることが大切ですね。だからといって、参考資料を一冊の本、一つのWebサイトに限定してしまうのは、一つの意見だけを根拠にすることになり、危険です。調べものをするときは、信頼性の高い様々な資料を選び、集め、比較して、自分なりに考えた結果・意見を、“自分の文章”にまとめましょう♪

POPコンテスト

この夏、墨田区立図書館史上初となる「POPコンテスト」を実施します！お気に入りの一冊を、同じ年代の誰かに向けて、**あなたの言葉で**オススメしてみませんか？

> 図書館でいう“POP”とは、「おもしろそうだから、借りてみようかな」「オススメの本なら、読んでみようかな」みたいな、読む気になる、本を借りるときの最後の一押しとなるようなメッセージのこと

POPに書いてほしい内容



ワンポイントアドバイス

レイアウトにご注意を
人の視線は、横書きなら「Z」字に、縦書きなら右から「N」字に動くので、視線をうまく誘導するようにレイアウトしましょう

適度な余白で魅せる
伝えたい情報が多いからといって、紙面いっぱいに文字を書くと読みにくくなってしまうので、適度な余白を意識しましょう

強弱を駆使する職人技
文字の大きさや書体、ペンの種類、色などの変化により、POPの情報に強弱をつけると“伝える力”が強いPOPができますよ

なによりも一番大切なこと「**心を込めて、丁寧に書く**」

POPコンテストへ応募しよう♪

区内の図書館・コミュニティ会館図書室などで配布している「POP用紙兼応募要項」を手に入れ、応募要項をよく読み、POPを書いてみましょう！

お父さんがキモい理由を説明するね
父と娘がガチでトークしました　中山順司/著　泰文堂　2014

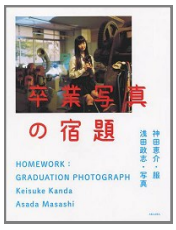
著者・中山パパ・４３歳は、いつもは話しかけても「まじうぜぇえぇ」とすげなくされる中１の娘から突然、「お父さん、アタシ告白されたんだ」と打ち明けられた！ これをきっかけに週１回、父娘がガチで、テーマを決めての「マジトーク」がスタートし・・思わず爆笑、そして、家族や自分に向き合うことについて改めて考えさせられる一冊です。

えいごのもと　関谷英里子/著　NHK出版　2014

60の単語が、イラスト付きで紹介されています。P 129、「PRINCIPLE」は、「主義」「信念」という意味ですが、ことばのイメージを「ねっこ」と捉えることで、よりわかりやすくなります。えいごのもとをつかんで、Let’s enjoy English！

クラスメイツ　森絵都/著 偕成社 2014

１年Ａ組24人のクラスメート1人ひとりを主人公に、その一年間を描いた短編集。前期・後期の全２巻。仲良しグループ内での各々の気持ち、恋のドキドキ、仲違いのもどかしさ、分かり合えた喜び…。顔や気持ちを想像しながら読むのは楽しく、共感できる部分もあるかもしれません。



卒業写真の宿題
浅田政志/写真　神田恵介/服　赤々舎　2014

この写真集、HPで応募した高校生の架空の卒業写真なのです！林間学校、運動会、合唱コンクール、就学旅行などのシチュエーションを設定し、アイドルでもモデルでもない普通の高校生たちが「マジ」でなりきっています。思い出の写真と熱い！メッセージがつまっています。

体感する宇宙　竹内薫/著　KADOKAWA　2014

「宇宙って？」いきなりの質問に、この本はわかりやすく解説します。身近な出来事から「宇宙」を「体感」してみませんか？ 「もしも町に人だかりができていたら？」この宇宙事象の答えを本文で見つけてください。ちなみに、表紙＆イラストは、あらゐえいいちさんです。

ペナンブラ氏の24時間書店　ロビン・スローン/著
島村浩子/訳　東京創元社　2014

失業中のクレイが再就職したのは、謎に包まれた書店。24時間営業だが客はほとんどなく、この世に存在しないはずの本がぎっしりある。暗号で書いてあるであろう本の読解に挑もうとするクレイたち。それは、数百年越しの謎を解明するという意味を持つものだった…！

綾瀬はるか「戦争」を聞く　TBSテレビ『NEWS23』取材班/編
岩波書店　2013

原爆被災地広島市出身の女優・綾瀬はるかによる、戦争経験者の方々へのインタビューから構成されています。終戦から７０年近くの時が過ぎ、自身の戦争体験を語ることのできる人も少なくなりつつある今、「戦争の現実」をリアルに感じさせる個々の記憶は貴重な遺産。それを受け止めた綾瀬はるかの真摯な想いも伝わってきます。

語呂で読める！書ける！難読漢字
根本浩/著　新水社　2014

「湯湯婆」、これ、何て読むかわかりますか？ こんな難読漢字は、「“お湯の代わりに、お湯の代わりに”とお婆ちゃんが湯湯婆（＝ユタンポ）をくれた」と覚えれば楽勝♪ テスト勉強にも漢検対策にも、心強い味方です！

ひきふね図書館おもてなし課

「ひきふね図書館おもてなし課」とは、区内在住在学の中学生が、図書館の魅力について深く知るとともに、人が集う図書館をめざした企画を行うなど、図書館をより楽しい場所にするために活動する仲間です。

新たなメンバーも加わり、現在は12人で活動中。図書館を楽しんでもらえるような企画をみんなで考えています。その第一弾として、６月に、ひきふね図書館ティーンズルームの特集コーナーを占拠っ！「恐怖 -Horror-」と題して、おもてなし課がオススメする怖い話を集めました。これからの活躍にも、ぜひ、ご期待くださいね！

真緒オススメの一冊

サクラ咲く　辻村深月／著　光文社

中学一年生の主人公が学校の図書室で本を読んでいたら、「サクラチル」と書かれた紙が挟まっていた。その言葉には、どんな思いが込められているのか。

中学生が抱える思いを丁寧に描いた作品です。最後には「サクラサク」という言葉に変わる、それまでの物語の展開から、中学生ならではの思いが伝わり、とても感動する作品です。

観てから読む？読んでから観る？

情報誌に寄せられた「映画やドラマの原作本が読みたい！」にお応えします。

百瀬、こっちを向いて。	中田永一/著 祥伝社
オー!ファーザー	伊坂幸太郎/著 新潮社
砂上のファンファーレ　＊映画名「ぼくたちの家族」	早見和真/著 幻冬舎
ライヴ	山田悠介/著　角川書店
円卓	西加奈子/著 文藝春秋
万能鑑定士Qの事件簿４	松岡圭祐/著 角川書店
春を背負って	笹本稜平/著　文藝春秋
青天の霹靂	劇団ひとり/著　幻冬舎
まほろ駅前狂騒曲	三浦しをん/著 文藝春秋
白ゆき姫殺人事件	湊かなえ/著　集英社

返信 Teen’s Voice ほかにもいただいた声にお返事します。

スポーツの本を読みたい。

鈍足バンザイ!-僕は足が遅かったからこそ、今がある。- 岡崎慎司/著 幻冬舎
準備する力 -夢を実現する逆算のマネジメント- 川島永嗣/著 角川書店
新イチロー思考 -進化を遂げて成功をつかむ78の道標- 児玉光雄/著 東邦出版
読んでみてくださいね♪

ホラーの本が大好きです。

九十九怪談 第7夜 木原浩勝/著 KADOKAWA ←第一夜～あります
貴族と奴隷 山田悠介/著 文芸社
てのひら怪談 加門七海/編 福澤徹三/編 東雅夫/編 ポプラ社
おすすめです。